

実習内容
ならびに
スケジュール

整形外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション①	木島	8:00	8号館6階カンファレンス室
	術前カンファレンス	橘	8:15	8号館6階カンファレンス室
	オリエンテーション②	井石琢	8:00	8号館6階カンファレンス室
	上肢手術見学	土山	9:00	手術室
	昼食			
	脊椎手術見学	圓尾	13:30	手術室
	整形外科総論講義	橘	15:30	8号館6階カンファレンス室
	膝関節スポーツ疾患講義	中尾	16:30	8号館6階カンファレンス室
火	術後カンファレンス・ショートレクチャー	橘	8:00	8号館6階カンファレンス室
	脊椎手術見学	圓尾	9:00	手術室
	昼食			
	脊椎手術見学	圓尾	12:45	手術室
水	外来実習	中山・土山	9:00	1号館1階整形外科外来
	昼食			
	外傷学講義	大井	13:30	8号館6階カンファレンス室
	レポート作成			
木	術前カンファレンス・抄読会	橘	8:00	8号館6階カンファレンス室
	関節鏡・上肢手術見学	中山・樋口	9:00	手術室
	昼食			
	検査見学（ミエログラフィー：脊椎）	木島	13:30	1号館2階TVセンター
	ギプス実習、骨粗鬆症講義	川口	16:00	1号館1階整形外科外来
金	回診・担当症例カンファレンス	橘	8:15	1号館10階西病棟
	腫瘍・下肢手術見学	川口・井石琢	9:00	手術室
	昼食			
	（レポート作成）			
	総括、担当症例プレゼンテーション	橘・圓尾 中山・有住・井石智・武田	15:00	8号館6階カンファレンス室

◎ 診療科名： 整形外科

◎ 責任者氏名： 橘 俊哉 主任教授

◎ 指導教員氏名： 木島 和也 助教

◎ 実習概要

1.カンファレンス、2.教授回診、3.病棟実習、4.手術見学（脊椎、下肢、上肢、腫瘍、スポーツ）、5.ギプス実習、6.脊髄腔造影（ミエログラフィー）検査実習、7.関節造影検査実習、8.四肢計測法実習、9.整形外科総論、関節疾患、骨粗鬆症、外傷学講義、9.その他各種検査・処置・治療の見学、などを行い、整形外科領域における各種の疾患、障害、外傷に対する的確な診断と治療方針の立案が行えるための基礎知識の獲得を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- （1）入院患者を担当し、その診断・治療（手術を含む）についてレポートを作成する。
- （2）四肢計測を含む理学所見の評価法、ギプス巻き等の処置ができる。
- （3）骨折治療及び骨粗鬆症の実際について理解している。
- （4）スポーツ外傷、障害について、講義及び実習において、診断や評価法を理解している。
- （5）上・下肢の外傷・疾患について診断や治療に関する基本的知識がある。
- （6）骨・軟部腫瘍の画像診断や手術について、実習において、その実際を学んでいる。
- （7）脊椎・脊髄疾患の総合的診断、手術および保存的治療について理解している。
- （8）小児整形外科疾患の診断・評価と治療について、外来実習により学んでいる。
- （9）脊髄造影（ミエログラフィー）、関節造影の検査の手技や画像評価を理解している。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

3年次の講義資料をよく復習し、整形外科各分野の疾患や外傷の基礎知識を事前に身につけておくこと（1日間）

◎ 評価方法

（知識、技術、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をルーブリックで明示）。

	S	A	B	C
知識	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療について深く理解できている。	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療について理解できている。	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療についての概略が理解できている。	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療について十分理解できていない。
	国家試験レベルに加え整形外科領域に重要な最新の治療も十分理解している。	国家試験レベルの内容は十分理解している。	国家試験レベルの内容をある程度理解している。	国家試験レベルの内容の理解も不十分である。
技術	問診、診察手技を含めた診断のための技術が十分備わっている。	問診、診察手技を含めた診断のための技術が一定程度備わっている。	問診、診察手技を含めた診断のための技術が十分には備わっていない。	問診、診察手技を含めた診断のための技術が習得できていない。
	整形外科的検査の方法や所見評価について、十分理解し、説明もできる。	整形外科的検査の方法や所見評価について、理解し、説明もできる。	整形外科的検査の方法や所見評価について、ある程度理解できている。	整形外科的検査の方法や所見評価について、理解できていない。
態度	指導医や担当医に加え、カンファレンス内でも積極的、自発的に質問する。	指導医や担当医に疑問点について、積極的に質問する。	ノルマはこなしているが、指導医や担当医に対する質問の姿勢が、やや消極的。	消極的で指導医や担当医に対する質問がない。

	実習において、積極的に知識、経験を得ようとする姿勢が見られ、自発的学習も良く行っている。	実習において、知識、経験を得ようとする姿勢が見られ、自発的学習も行っている。	実習において、積極的に知識、経験を得ようとする姿勢や自発的学習が十分とは言えない。	実習において、積極的に知識、経験を得ようとする姿勢が見られず、自発的学習も行っていない。
	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療について深く理解できている。	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療について理解できている。	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療についての概略が理解できている。	代表的な疾患や外傷の病態、評価、治療について十分理解できていない。

◎ パフォーマンス評価

実習中、以下の評価を行う

講義、外来、手術・検査室での実習への参加状況や実習態度などに関する実習中の評価

実習週の金曜午後の担当症例に関するプレゼンテーションと、その際の質疑の内容

◎ 中間評価とフィードバック

中間評価：水曜日の実習終了時点で、それまでの実習態度やアウトカムについての評価を行う。

フィードバック：実習週の金曜午後からの総括の際に、担当症例に関するプレゼンテーションや関連事項に対する質疑の中で、個々の学生にフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- ・初日は8時 00 分に8号館6階の整形外科カンファレンスルームに集合すること。
- ・毎週月曜日、木曜日朝のカンファレンス、火曜日8時00分のショートレクチャーおよび抄読会、金曜朝8時15分の教授回診には時間に遅れることなく出席すること。
- ・手指・爪の状態、頭髮、服装など、外来や手術室、検査室での実習にふさわしい準備を行って実習に臨むこと。
- ・月曜日が休みの場合は、火曜日8時00分からの術後カンファレンス終了後にオリエンテーションを行う。

- 実習日程表を各自持参すること。
- 休日などの補講は行わない。